

# 「わが村は美しくー北海道」運動 第9回コンクールの経緯と表彰団体について

北海道開発局  
農業水産部 農業振興課

# 「わが村は美しくー北海道」運動 第9回コンクールの経緯



- H30年度は、全道59市町村から61団体の応募があり、優秀賞13団体、奨励賞21団体を決定。
- コンクール2年目の本年度は、優秀賞13団体の中から先導性、モデル性に優れた2団体を「大賞」に決定。

## ◆運動のイメージ



- ・「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするため、地域の資源を活用して地域住民が主体的に行っている活動を支援する取組。
- ・住民、行政、団体、有識者、企業など多くの関係者の協力を得ながら平成13年にスタート。
- ・「景観」・「地域特産物」・「人の交流」の3つの要素から、北海道にあるたくさんの「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えていくため、コンクールを開催。
- ・コンクールは、道内各地で地域の魅力と活力を高めようとする地域住民の努力と行動に光をあて、全国に発信。活動を支援し波及させていくことによって、農山漁村の新たな発展を目指す。

## スケジュールについて

(平成30年度)

公 募  
(H30年3月5日～H30年6月29日)

- ・全道59市町村から61団体応募



ブロック審査委員会  
(H30年7月～H30年12月)

- ・各開発建設部毎に設置
- ・応募団体の現地調査
- ・優秀賞・奨励賞の審査・選考



優秀賞・奨励賞の決定  
(H31年1月)

- ・受賞団体の決定
  - ◎優秀賞13団体 表彰者～開発局長
  - ◎奨励賞21団体 表彰者～各建設部長

☆優秀賞～優秀な活動を選考

☆奨励賞～将来性や継続性から奨励する活動を選考

(令和元年度)

大賞審査委員会  
(R元年6月～R元年7月)

- ・優秀賞受賞13団体の中から大賞候補団体を審査、選考
- ・審査委員は、外部有識者5名構成



大賞決定  
(R元年9月)

- ・第1回大賞審査委員会 (R元年6月25日開催)
- ・第2回大賞審査委員会 (R元年7月12日開催)

- ・受賞団体の決定・表彰
  - ◎大賞表彰者～開発局長

【表彰式】  
R元年11月11日(月)16時から

☆大賞～運動を引率する先導性、モデル性の高い団体を選考

## 大賞 (北海道開発局長表彰)

特定非営利活動法人

サトニクラス



### 【月形町】

農業と福祉のまちで「里に暮らす」農福連携に取り組んでいます



障がい者の特性を、個性に合った働き方が出来るよう地域が一体となり工夫しています。

地元野菜を利用して地域の伝統的な発酵食品・保存食文化を継承しています。

北海道真狩高等学校



### 【真狩村】

「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます



野菜がほとんど使われることのなかったスイーツ分野で、野菜の栽培、食育、商品開発、販売までを一貫した流れで行い、真狩村の道の駅ではカフェを運営しています。

## 特別賞 (大賞審査委員表彰)

北海道中標津農業高等学校  
マネージメント研究班  
【中標津町】

地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、計根別地域の全ての子どもたちを対象とした食農教育を展開しています。



函舞地区マリンビジョン  
【根室市】

水産ブランド化を中心に位置づけ、漁業振興や誘致活動から漁民泊や漁業体験、クルージング等を通じた交流人口の増加による地域の活性化に向けて活動しています。





# <参考> 「わが村は美しくー北海道」運動とは

- 住民主体の地域活性化活動を支援するとともに、貴重な地域資源情報として事業の推進に役立て、農山漁村の発展に寄与。
- 「景観」・「地域特産物」・「人の交流」の3つの要素から、北海道にあるたくさんの「地域資源」をみつけ、「いいもの」を多くの人に伝えていくため、コンクールを開催。
- コンクールは、道内各地で地域の魅力と活力を高めようとする地域住民の努力と行動に光をあて、全国に発信。



## 「わが村は美しくー北海道」運動について

日本と古くから交流があり、様々な先進的な取組を行っているヨーロッパの「ドイツ連邦共和国」では、「Unser Dorf soll schöner werden」、日本語訳「わが村は美しく」という、美しい農村景観をたたえるコンクールが実施されていました。

これを参考に平成13年に「わが村は美しくー北海道」運動が始まりました。

“運動”とは、地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な立場の人たちが「参加しよう」「広げよう」「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズに地域活動にかかわっていこうというものです。

景観の維持・保全、農産物直売所、地域特産物の開発、農山漁家民泊、都市・農村交流等々、たくさんの団体が様々な活動に取り組んでいます。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指します。

北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、地域づくりに取り組む活動を対象としています。


### 【第9回コンクール大賞受賞団体】

特定非営利活動法人 サトニクラス (月形町)



地域農業の6次産業化と農福連携に取り組んでいます。

北海道真狩高等学校(真狩村)



「野菜スイーツで村を元気に」を合い言葉に高校生パティシエが村の活性化に取り組んでいます。

## 「わが村」運動を広く伝える取組

JR北海道車内広報誌に  
受賞団体記事を連載



札幌チカホでプロモーションビデオ  
放映(札幌市連携)



観光ビジネスマッチングへの参加  
(北洋銀行連携協定の活用)



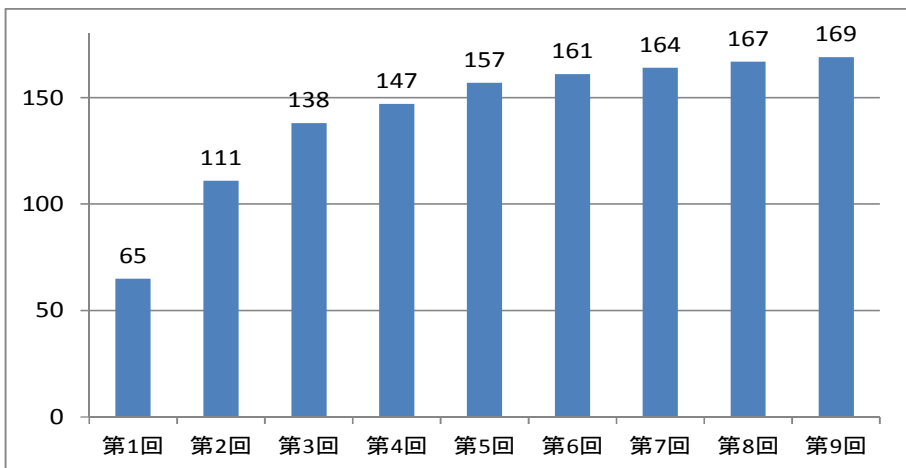
首都圏でPR活動実施  
(東武百貨店 池袋店)



- ✓ 北海道開発局ホームページから情報発信。
- ✓ メールマガジンの配信。
- ✓ facebookによる情報発信。
- ✓ 地域活性化に資する連携協定の活用。(観光ビジネスマッチングへの参加)
- ✓ 首都圏でPR活動実施。(大北海道展への出展)
- ✓ 札幌市との連携強化による「チカホ」活用。

# <参考> 「わが村は美しく—北海道」運動 参加団体の状況

- 参加市町村は、全道の94%にあたる169市町村。(グラフ1、図1)
- これまでのコンクール参加団体数は、複数応募を除き820団体、延べ応募数では、1,172団体。  
また、受賞団体数は、延べ254団体。  
(3部門制開催の第5回までは金銀銅75、部門統合した第6回以降179) (表1)



グラフ1 参加市町村数 (累積)

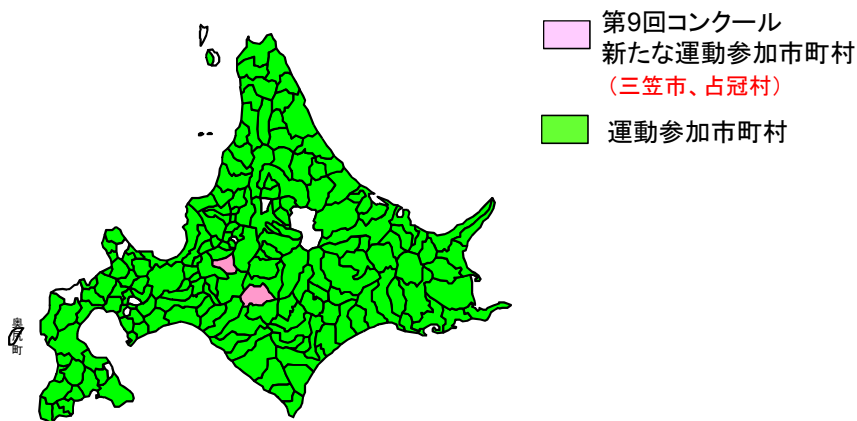


図1 運動参加市町村図

## ○コンクール応募対象

北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、地域づくりに取り組む次のような活動を対象とする。

目的や内容に「生産と生活に根ざした景観の形成」「地域で生産される農林水産物を活かした特産物づくり」「地域内交流の活発化や都市住民等地域外との交流」の要素のいずれかを含み、これらを活かして地域の活性化に貢献している活動。

## ○応募資格

住民が主体となって参加している団体の活動であること(任意団体、NPO法人、協同組合、商工会議所、商工会、学校等を含み、企業単独、個人単独の活動を除く。但し、企業、個人単独であってもその活動が地域の他の団体と連携した活動であって、地域との繋がりが明確に認められる場合は対象とする)

表1 これまでの参加団体数及び受賞団体数

		第1回 H13-14	第2回 H15-16	第3回 H17-18	第4回 H19-20	第5回 H21-22	第6回 H24-25	第7回 H26-27	第8回 H28-29	第9回 H30-R1	計
参加団体数 (重複応募を除いた団体数)		114 (114)	160 (119)	170 (122)	169 (100)	200 (130)	113 (73)	99 (64)	86 (57)	61 (41)	1,172 (820)
景観	金	-	-	-	-	-	大賞 3	大賞 3 特別賞 2	大賞 2 特別賞 3	大賞 2 特別賞 2	
	銀	4	-	1	-	1					
	銅	-	2	1	1	1					
特産物	金	2	2	2	2	2	優秀賞 14 奨励賞 34	優秀賞 14 奨励賞 30	優秀賞 14 奨励賞 26	優秀賞 13 奨励賞 21	
	銀	2	2	2	1	2					
	銅	2	3	2	3	3					
交流	金	2	1	1	1	2					
	銀	2	3	3	2	2					
	銅	3	3	2	3	2					